

富田 たく



日本共産党杉並区議団控室 電話：3312-2111(2319) FAX：3312-2610
ホームページ：http://www.tomitaku.jp
メール：info@tomitaku.jp X(ツイッター)：@tomita_taku

能登半島地震

救援募金へのご協力を
お願いいたします

日本共産党は、全国で救援募金活動に取り組んでいます。

杉並区内では1月8日までに45万8,060円の募金をお預かりしました。全額、被災された自治体・社会協議会へお届けいたします。引き続き、皆様のご協力もお願いいたします。

郵便振替口座番号

00170-9-140321

加入者氏名

日本共産党災害募金係

*通信欄に「能登半島地震募金」とご記入ください。手数料はご負担願います。

都市計画審議会で善福寺川調節池計画が議題に 前・区長の『負の遺産』が問題に



東京都の資料より抜粋

今回の内容は善福寺川に流入した雨水30万㎡を溜め込むための調節池(地下トンネル方式)を追加するものです。水害対策は喫緊の課題であり、党区議団もその重要性をうったえてきました。

東京都の拙速な進め方に 多くの住民が疑問!!

第205回杉並区都市計画審議会が1月16日に開催され、東京都市計画河川第8号善福寺川の変更について(案)「東京都決定」が議題として審議されました。日本共産党杉並区議団から私・富田たく区議が審議委員として参加し、計画を一旦立ち止まることを求める立場から質疑を行いました。

しかしながら、本計画案では、住宅20軒以上の立ち退きと、区立関根文化公園(上荻4丁目)の半分、都立善福寺川緑地(成田西3丁目)のポケット広場全域が河川施設に転用される内容で、住環境に過大な負荷を与えることが大きな問題となっています。住民生活に著しい影響を与えるにもかかわらず、東京都の進め方はあまりにも拙速でした。

昨年8月に素案が発表されると、たった3ヶ月で計画案に格上げされ、本年2月には計画決定となる予定です。こうした拙速な進め方に対して、多くの住民から疑問の声が出されており、計画を進める東京都に対して住民たちが集めた「都民との対話を求める署名」は直筆、ネット合わせて1万5千筆以上となっています。

前・区長の負の遺産が波紋 住民に黙って公園使用を了承

今回の計画に係る過去の経過が、私・富田たくの情報公開請求で明らかになりました。

次ページへ続く

2020年（令和2年）9月に前・田中良区長から東京都建設局長に出された文書【善福寺川における河川施設整備に伴う杉並区有地の活用について（回答）】では、関根文化公園の使用を「了承」したと記載されていたのです。

この公開情報から見えてくるのは、区立関根文化公園を河川施設として東京都に差し出す約束をしていた事を、前・田中区长は3年以上も前から、住民にひた隠しにしていたという事です。

前・田中区长の負の遺産で 子どもの居場所が喪失

この地域では、前・田中区长が児童館を廃止し、連動して校庭開放も縮小され、多くの小学生の居場所が喪失しました。

関根文化公園はそうした児童生徒の放課後の重要な居場所となっていたにもか

かわらず、前・田中区长は住民には一切説明してきませんでした。

用地が必要であれば、地元住民との対話を行うべきであり、その時間は十分にあったのです。前・田中区长の区民無視の区政運営が、今回も「負の遺産」として住民を苦しめる結果になっています。

委員の3分の1が反対

審議会では、東京都の拙速な進め方や、前・田中区长の住民無視の姿勢、グリーンインフラの考え方が無いことなど、多くの問題点が指摘されました。

最終的な賛否の結果は、賛成12名、反対6名。委員の3分の1が反対に回るのは、審議会としては異例の結果です。

さらに、会長からは、計画案については審議会として原案に賛成となったが、審議で出された意見を付して区長に答申を提出することが表明されました。また、答申に付す意見案については事前に審議委員に確認すること。通常、こうした意見は会長一任で作られますので、提出前に確認されることも異例です。

今後は2月6日の東京都・都市計画審議会に議論の場が移ります。今後也都に對しても皆さんの声を届けていきます。

東京都に申し入れ 国民健康保険料 引き下げの努力を!

昨年12月21日、日本共産党東京都委員会、都議団、区市町村議員団は、物価高騰が深刻なもと、国民健康保険料を引き下げのため、東京都があらゆる努力をするよう小池都知事あてに申し入れを行いました。

党杉並区議団からはくすやま美紀区議、小池めぐみ区議の二人が参加。くすやま区議は都に對し、「都が示した来年度の保険料は、法定外繰り入れ前で12,195円の増額となる。低所得者が多い国保被保険者に対し、

2年連続で大幅値上げを招きかねない事態を、東京都としてどう認識しているのか」「保険料抑制のための法定外繰入廃止を自治体に迫ることは許されない」と訴えました。都の担当者は「国保料は区市町村で決める」「法定外繰入の解消については、国から厳しく指導を受けている」などと、被保険者の実態に向き合わない姿勢をあらわにしました。

引き続き保険料軽減に向けて力を尽くします。



申し入れで発言するくすやま区議と小池区議

日本共産党発行

スcoop連発!!
政治の真実を伝える!



【ご購入の連絡先】

◇日本共産党 杉並地区委員会

日刊 ●月 3,497円
日曜版 ●月 930円

TEL : 3314-5551
FAX : 3318-1492

なんでもご相談ください!

税金や国保、年金など、
区政・生活についてのご相談をお受けしています。
家族や友人に言えないことでも、お気軽にご連絡ください。

メール : info@tomitaku.jp